

生誕140年

清水比天展

Shimizu

Hian

展



日々を愛でる

会場 岡山県立美術館 2階展示室

開館時間 9時～17時(入館は閉館の30分前まで。11月25日(土)は19時まで開館。)

休館日 月曜日(ただし11月20日は開館。)

観覧料 一般350円 大学生250円※ 65歳以上170円※

高校生以下無料※

※学生証や年齢を確認できる証明書をご提示ください。

・キャンパスメンバーズの学生は無料

・障がい者手帳をご持参の方とその介護者1名は無料

・「第70回日本伝統工芸展岡山展」全期中は、同展観覧券でもご覧いただけます。

主催 岡山県立美術館

助成 公益財団法人福武教育文化振興財団

後援 岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、

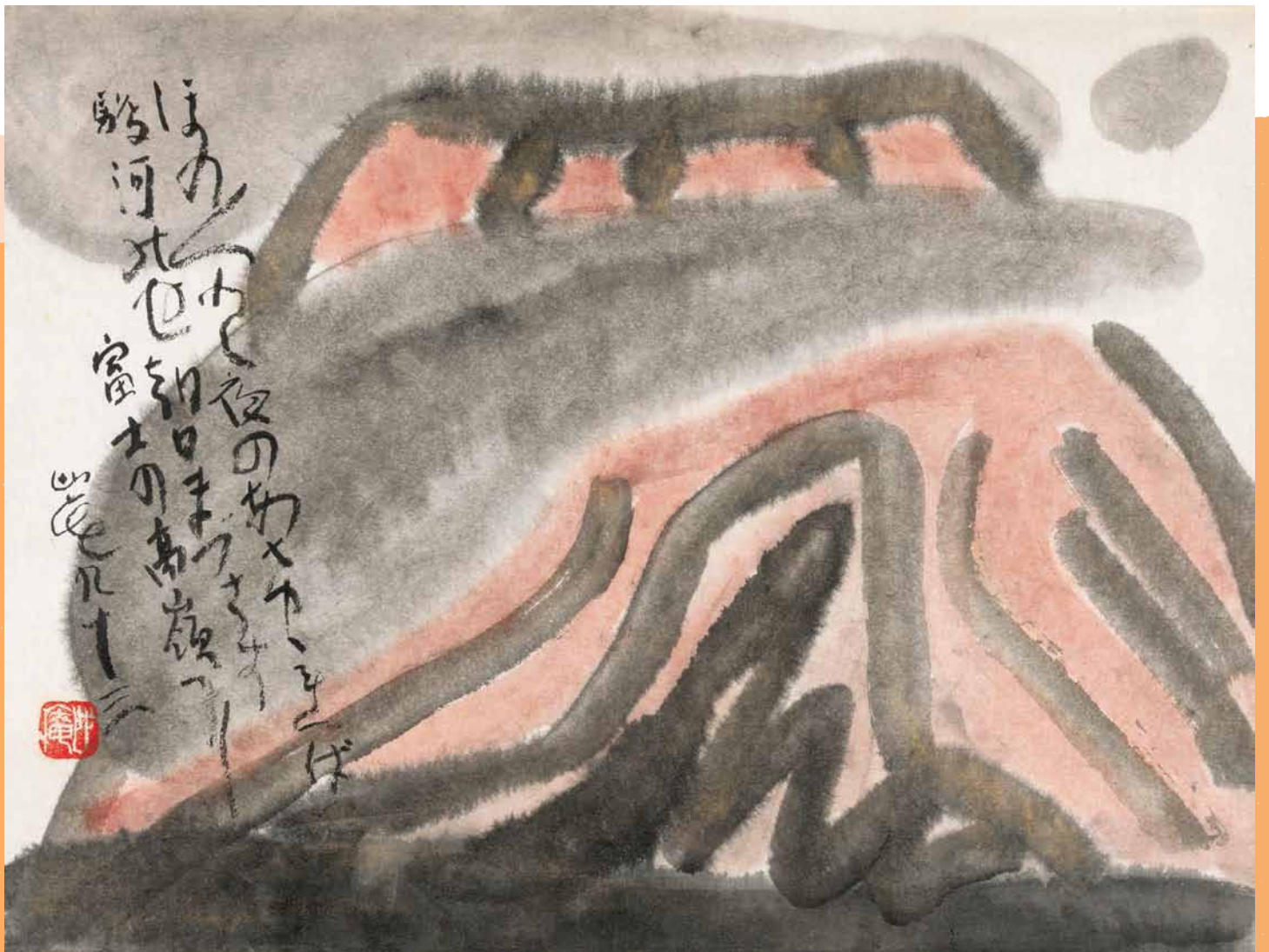
公益社団法人岡山県文化連盟、一般財団法人岡山県国際交流協会、山陽新聞社、

RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

令和5年11月11日(土) — 12月10日(日)



《富士》昭和50年(1974) 個人蔵



1.



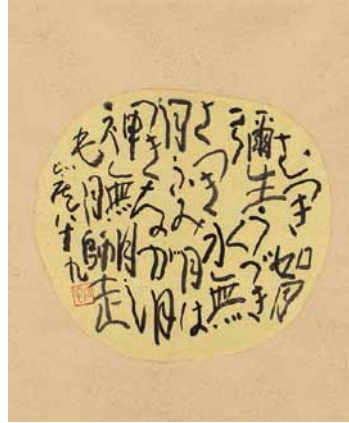
2.



3.



4.



5.



6.

歌・書・画 三位一体の豊かな比庵芸術

清水比庵(1883-1975)は、歌・書・画の三芸において優れた作品を残した、高梁市出身の歌人です。京都帝国大学法律学科を卒業し、司法官を務めたのち銀行員に転職。東京や秋田、青森、大阪など日本各地で勤務したのち、昭和5(1930)年には栃木県日光町長に就任。それまで余暇で続けてきた短歌を発表し、歌壇の注目を集めます。退職を機に歌・書・画の創作に邁進し、80歳を迎える頃から、力強さととのびやかさを備えた独自の芸術を開花させました。昭和41(1966)年には宮中歌会始の召人を拝命する荣誉に浴し、詠進歌「ほのぼのとむらさきにほふ朝ぼらけうぐひすの声山よりきこゆ」を披露。教養と人柄のにじみ出るその作品は、多くの人に愛されてきました。

本展では清水比庵生誕140年を記念し、ご遺族に受け継がれた作品約40点を展覧いたします。歌・書・画三位一体の豊かな比庵芸術の世界をお楽しみください。

- 1.《老松》昭和40(1965)年頃 個人蔵
- 2.《九十九里にて》昭和43(1968)年 個人蔵
- 3.《柿と栗》昭和49(1973)年 個人蔵
- 4.《春の一日》昭和45(1970)年 個人蔵
- 5.《一年十二月》昭和46(1971)年 個人蔵
- 6.《蘭亭序》昭和50(1974)年 岡山県立美術館蔵
- 7.《すずめ》昭和50(1974)年 岡山県立美術館蔵

関連事業(要観覧券)

開催記念ギャラリートーク

11月12日(日) 14:00-14:30

場所：2階展示室

講師：ワーデン充子氏(清水比庵孫)

フロアレクチャー

①11月25日(土) 17:30-18:00

②12月10日(日) 14:00-14:30

場所：2階展示室

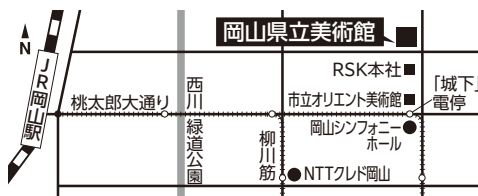
講師：橋凜(当館学芸員)



7.

岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL 086-225-4800
E-mail kenbi@pref.okayama.lg.jp
https://okayama-kenbi.info/



交通案内

可能な限り公共交通機関をご利用ください。

[JR岡山駅 後楽園口(東口)から]

徒歩 | 15分

路面電車 | 東山行「城下」下車 徒歩3分

宇野バス | 四御神・瀬戸駅・片上方面行「表町入口」下車

徒歩3分

岡電バス | 藤原団地行「天神町」下車すぐ

循環バスめぐりん | 益野線「表町入口」下車 徒歩3分